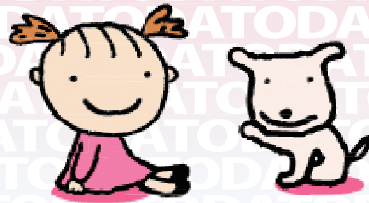
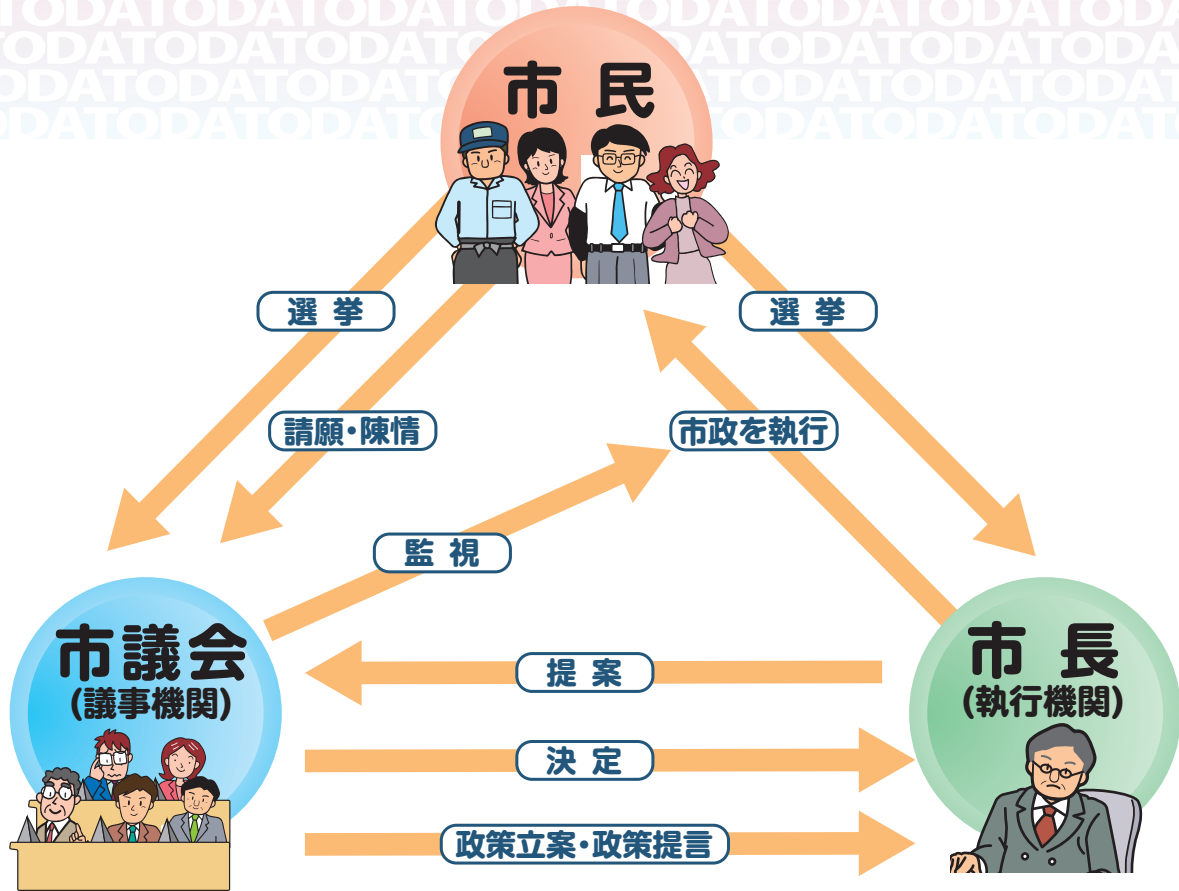


シリーズ Vol.3

議会を知っ tocco



～ 聞きたい 知りたい 議会のしごと ～



議会を知っ tocco

議会を知っ tocco

市議会の仕事

市議会には、議事機関として十分活動ができるよう、議決権、監査請求権、調査権などさまざまな権限が与えられています。その権限に基づいて次のような仕事をしています。

- 議決……市議会の最も基本的な仕事で、予算を定めたり、条例の制定・改廃、決算の認定、その他市の重要な契約、財産の取得・処分の決定などを行います。
- 市政のチェック…市政が正しく執行されているかどうか、市の仕事の状況を聞いたり、問題点を指摘することも市議会の大切な仕事です。事務の執行状況や出納検査などは、監査委員に専門的な監査を求め、その結果を請求することができます。
- 選挙・同意……議長、副議長、選挙管理委員会委員などを選挙で選びます。また、市長から提出される副市長、教育委員会委員、監査委員など、重要な人事案件について、同意するかどうかを決めます。
- 意見書の提出……市民生活に関する事柄について、その実現を図るため、国会や国・県などの関係行政庁に意見書を提出します。

市議会と市長ってどんな関係なの？

今回は、「二元代表制」(市議会と市長の関係)について、みなさんの疑問に答えます。

Q市議会と市長は、どのような関係にあるの？

A地方自治体には、その意思や基本的な方針を決める議事機関としての「市議会」と、その決定に基づいて実際に仕事を行う執行機関としての「市長」や「教育委員会」等があります。市民は選挙で直接、市議会議員と市長を選びます。これを「二元代表制」と言います。一方、国においては国会議員が首相を選ぶ「議院内閣制」

を採用しており、この点が地方と大きく異なります。市議会は、市長から提出された予算案や条例案など重要な事項を審議し、決定します。市長や教育委員会等は、市議会の決定に基づいて市政を執行します。また、市議会は、執行機関が適切に仕事をやっていくように監視する役割を担っているほか、市政の課題について政策立案・政策提言する役割も担っています。このように市議会と市長は、独立・対

等々の立場でそれぞれの役割に基づいて、お互いに牽制し、調和を図りながら、よりよい市政の実現を目指して活動しています。

Q市議会の魅力ってどこにあるの？

A市議会が、二元代表の一方である市長と最も違うところは、議会が多様な考え方を集めること、議論をまとめること、結論を出すこと、必ずみんなで議論をします。この議論こそが、

Q地域の課題解決のために、どうしているの？

A地方自治体は、今後ますますみずから責任と権限において地域を運営していく必要があり、その車の両輪がまさに市議会と市長です。少子高齢化に伴って増大する公共サービス、その一方で、ますます厳しくなる財政状況の中、地域の課題解決のために、お互いに独立した立場から協力し合って、市政の発展と市民福祉の向上に努めています。